

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会競技注意事項により行う。
- 2 点呼（100mゴール後方）はプログラムに示された招集完了時刻までに張り出された点呼用紙の自分のピブス番号に○をつけて、トラック競技の場合は腰ナンバーを各自で取り、招集完了時刻の5分後までに現地に集合し、出発・跳躍・投擲系のチェックを受ける。招集完了時刻を過ぎても○がない場合や本人が現地にいない場合は失格となる。
- 3 選手は、その競技に出場する以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。
- 4 同時に2種目以上の競技に出場する選手は、同時に出場する種目名を張り出された点呼用紙に記入すること。
- 5 リレーのオーダー用紙は、その競技の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
（オーダー用紙は競技者係より受け取ること）
- 6 ナンバーカードのないものは、競技することができない。
- 7 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載されたとおりとする。
- 8 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は、次のとおりとする。

【走高跳】

区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
男子	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以降 3cm ずつとする
女子	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50			

【棒高跳】

区分	①	②	③	④	⑤	
男子	1.80	2.00	2.20	2.40	2.50	以降 10cm ずつとする
女子	1.80	2.00	2.10			

※開始のバーの高さは変更する場合もある。

※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。

- 9 ポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てき用具は検定の上使用してもよい。
- 10 競技場はトラック・フィールドとも全天候型ウレタン舗装のため、全天候型スパイクピン（9mm以下）を使用しなければならない。
- 11 競技場内には、映像機器やミュージックプレーヤー、またスマートフォン等の通信機器を持ち込むことはできない。また、練習器具も持ち込むことはできない。
- 12 選手は、スポーツマンらしい態度で競技にのぞむこと。
- 13 審判員の判定に質問等がある場合は、必ず当該団体の責任者が大会本部まで申し出ること。

※砲丸の重さ

高校男子用	女子用
6.000kg	4.000kg

※円盤の重さ

高校男子用	女子用
1.750kg	1.000kg

※ハンマーの重さ

男子用	高校男子用	女子用
7.260kg	6.000kg	4.000kg